



「パククネを監獄へ」と訴える労働者民衆

連日、韓国の大統領選挙をめぐる報道がされています。さらにトランプ次期大統領の報道。マスコミが報道しない真実は何か。

11月6日東京・日比谷での全国労働者集会には、韓国・民主労総の仲間が多く駆けつけました。そして、11月12日韓国ソウルでの民主労総労働者大会には、日本から220人の訪韓団が訪れ、動労千葉が登壇しました。国境を越えた労働者の連帯が勝ち取られました。

韓国のパククネ打倒の100万を超える民衆総決起の背景には、鉄道労組の闘いを先頭に民主労総のゼネストが切り開いた情勢があります。そして、〇三年以来の日・韓・米

の国際連帯の闘いが切り開いた情勢があります。わたしたちが、毎年11月集会に行こうと、職場のみなさんにお訴えてきた中身が、今韓国で起きている情勢です。

さらに、アメリカ大統領選でのトランプ当選とその直後からはじまつた反トランプデモの全米的拡大は、御用組合幹部の制動を突き破つて現場労働者の闘いがアメリカ労働運動をリードしていく情勢の到来でもあります。

韓国・民主労総労働者大会では、民営化と成果主義に反対で闘つて逮捕されたハンサンギュン委員長が「世の中を変えるのは大統領でも財閥でも金バツジをつけた政治家でもない。貧しい青年と労働者だ」と獄中から激を発し、チエジョンジン委員長代行は、「パククネ退陣闘争は、韓国社会を根底から変革する闘争の始まりです」と訴えました。

韓国の100万を超える民衆の怒りは、マスコミの報道の「パククネ・チエジョンジンの裏切りに対する怒り」にとどまらない。新自由主義の

だんけつ 銀座

合理化の矛盾が外務へのしづ寄せに

No. 91

だんけつ編集委員会 (JP労組東京銀座支部・組合員有志)
danketuginza2009@yahoo.co.jp



いよいよ今年もあともうちょっと。年末繁忙おつかれさまであります。気をつけたいのが交通事故、郵便事故。それでも起きる事故。職場の声を聞いてみました。「何でも外務にしづ寄せがきてるよね」「付帯作業が多すぎるよ」「書留の配達証をプリンターから出すのって、最初は大変だと思つたけど、即納も後納も自分

でやるようになつたじゃん」「郵便課のミスのしづ寄せも外務にくるよね」「書留の交付で特殊が間違つたら俺たち配達に出れないじゃん」「とにかく携帯端末に操られている感じだよ」「集荷に行つたつて、端末の作業は目が痛くなるよ。終われば、すぐに運転して危ないよね」

当局は簡単に、DOSSSの入力

をその都度切り替えるように言うけど、人間の頭は機械じゃないから簡単に切り替わらないよ」「携帯端末に神経つかついたら、仕事になんないよね」「配達先でも、他の運送屋と話すけど、郵便屋さんは、端末作業の種類が多すぎて大変だね。俺らは荷物だけだからと言われたよ」「やつぱり、集配は事故のリスクが多すぎるよね」「指さし呼称だけじゃ良くならないよ。根本的にリスクを減らさなきゃならないと思うよ」「みんなの意見を聞いて思つたが、やはり外務の付帯作業の多さは誰もが感じている。それも合理化の結果だ。より良い職場にしていくためにみんなで知恵を出し合おう。【2面】(続きます)

